

施策マネジメントシート1(平成 31 年度目標達成度評価)

更新日 令和 2 年 6 月 24 日

事業番号 0030000016

総合計画体系	政策No.	04	政策名	暮らしやすく安全で安心なまちづくり	施策主管課	水道総務課
	施策No.	06	施策名	安定した水道水の供給		
関係課		水道工務課, 政策企画課				

1 基本計画期間(平成 30 年度～ 令和 3 年度)における「施策の方針」  重点施策

- ・水質の適正管理を行い、安全で安心な水道水を市民に安定供給していきます。
- ・老朽化した管路施設の効率的な更新や適正な維持管理を行っていきます。
- ・経営戦略(中期経営計画)を策定し、経営の健全性を確保します。
- ・水道事業に対する理解を深めるため、積極的な情報発信を行います。

2 施策の目的(①対象③意図)と指標(②対象指標④成果指標)等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		市民、市域(給水区域)							
②対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	数値区分	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)
A	給水人口	人	見込み値 実績値	139,736.0 138,757.0	139,596.0 138,381.0	137,793.0 0.0	137,009.0	136,225.0	135,440.0
				66.9 66.9	66.9 66.9	66.9 0.0	66.9	66.9	66.9
B	給水区域面積	km <sup>2</sup>	見込み値 実績値	66.9 66.9	66.9 66.9	66.9 0.0	66.9	66.9	66.9
③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		安全な水道水を安定的に使用することができる							
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)
A	水源(井戸)の更新箇所(対象:35ヶ所)	ヶ所	目標値	22.0	23.0	24.0	25.0	0.0	0.0
			実績値	22.0	23.0	0.0			
			達成率	100.0%	100.0%	0.0%			
B	基幹管路の耐震化率	%	目標値	29.4	32.2	36.1	39.2	0.0	0.0
			実績値	29.9	32.8	0.0			
			達成率	101.7%	101.9%	0.0%			
C			目標値						
			実績値						
			達成率						
D			目標値						
			実績値						
			達成率						
E			目標値						
			実績値						
			達成率						
F			目標値						
			実績値						
			達成率						

⑤成果指標の測定方法  
(実際に成果指標の実績値をどのように把握するのか)

A: 水源(井戸)の更新箇所(対象:35ヶ所)⇒更新した水源(井戸)数

B: 基幹管路の耐震化率(%)⇒基幹管路耐震管の延長/基幹管路の総延長×100  
※基幹管路とは、水道管路のうち、導水管、送水管、配水本管(口径400mm以上)をいう。

⑥基本計画期間における施策の目標設定とその根拠

A: 焼津市水道事業中期経営計画(平成27年度～令和元年度)における水源(井戸)の更新計画を踏まえた更新数を目標値とした。(毎年度1井更新)

B: 焼津市水道事業中期経営計画(平成27年度～令和元年度)における基幹管路の更新(耐震化)計画を踏まえた耐震化率を目標とした。

⑦施策コスト (トータルコスト=事業費+人件費)		単位	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	400,000	300,000	430,000	530,000	580,000	600,000
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,853,068	2,933,659	2,998,910	3,566,051	3,595,930	3,475,899
事業費計(A)		千円	3,253,068	3,233,659	3,428,910	4,096,051	4,175,930	4,075,899	
人件費	正規	職員従事人数	人区	29.1	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
		職員延業務時間数	時間	52,810.0	52,950.0	55,788.0	55,788.0	55,788.0	55,788.0
		職員人件費	千円	216,736	215,526	262,691	284,135	280,168	274,153
		人件費計(B)	千円	216,736	215,526	262,691	284,135	280,168	274,153
経費		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		経費計(C)	千円	0	0	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)+(C)	千円	3,469,804	3,449,185	3,691,601	4,380,186	4,456,098	4,350,052
この施策の事務事業数		本数	19	18	17	17	17	17	

施策マネジメントシート2(平成31年度目標達成度評価)

(施策名: 安定した水道水の供給)

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)

ア) 住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)

・給水装置(水道本管から蛇口まで)を適正に維持管理します。

イ) 行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)

・水道施設を適正に維持管理し、水道水の安全性を市民に伝えるとともに、安定的に供給します。  
 ・水道施設の計画的な更新を行い、効率的な事業運営に努め、水道事業の基盤強化を図ります。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化したが、令和2年度を見越して、今後どのように変化するか?

・施設整備の拡張を中心とする時代から人口減少社会や自然災害等に対応できる施設の維持管理や修繕、計画的な更新(耐震化)を行うことにより、将来にわたり持続可能な水道とすることが求められている。

③ この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

・市民から、焼津の水はおいしいと言われている。  
 ・災害時において、断水期間がより短くなるよう、老朽管の更新を進めて欲しいという要望がある。  
 ・議会から健全経営の継続を求められている。

4 施策の評価

① 施策の目標達成度(平成31年度の目標と実績との比較)

成果指標名	単位	平成31年度成果指標の達成度			結果
		目標値	実績値	達成率	
A 水源(井戸)の更新箇所(対象:35ヶ所)	ヶ所	23.0	23.0	100.0%	○
B 基幹管路の耐震化率	%	32.2	32.8	101.9%	○
C					
D					
E					
F					

\* 平成31年度施策の成果指標の達成状況及び要因

A: 達成した。要因は「中期経営計画」に基づき水源の更新を行ったため。  
 B: 達成した。要因は「中期経営計画」に基づき基幹管路の更新を行ったため。

※○: 目標達成 △目標をほぼ達成(達成率95%以上) ×: 目標を未達成  
 指標名に(ー)があるものは、目標値より実績値が低いものを達成とする

② 施策の振り返り(住民と行政の役割分担を踏まえて、施策の目標達成に向けて、基本計画で掲げた「施策の方針」及び「基本事業の取り組み方針」にどのように取り組んだか。)

・水質の適正管理については、水道法に基づいた水質検査計画を毎事業年度開始前に策定し、計画的に水質検査を実施するとともに、検査結果をホームページ等で公表した。  
 ・水源については1か所の更新を行うとともに、自己水源と大井川広域水道企業団からの受水による複数の水源を確保した。  
 ・管路更新事業については、管路耐震化・更新計画に基づき7.8kmの老朽管路の布設替に合わせて、耐震化を行った。  
 ・水道事業の基盤強化については、焼津市水道ビジョン及び中期経営計画(～令和元年度)に基づき、効率的な事業運営に努め、引き続き健全経営を行うことができた。また令和2年度からの次期計画である「焼津市水道ビジョン・経営戦略2020」を策定した。  
 ・水道事業の情報発信については、ホームページ等での決算状況の公表や、給水装置の適正な維持管理の啓発などを行うとともに、親子施設見学会を開催し、水道事業のPR活動を推進した。また、利用者に水道への関心を高めてもらえるよう制作した広報用映像を昨年度に引き続きホームページで配信するとともに、水道新聞を各戸に配布した。

③ 施策の課題(基本計画で掲げた施策の「現状と課題」、「②施策の振り返り」を踏まえて、令和2年度、3年度に向けた施策の課題はなにか)

・安全で安心な水道水の供給のため、引き続き計画に基づいた検査等の実施により水質管理を行う必要がある。  
 ・災害等の緊急時に迅速な対応ができるよう、危機管理に関するマニュアルを適宜見直す必要がある。  
 ・市民に安全な水を安定的に供給するため、新たな計画に基づき、水源及び管路の耐震化・更新を着実に進めていく必要がある。  
 ・給水人口の減少などによる水需要の低迷が続くなか、将来にわたって安定的な事業継続となるよう、令和2年度からの計画である「焼津市水道ビジョン・経営戦略2020」に基づき、効率的な事業運営に努める必要がある。  
 ・今後、老朽管更新に伴って増大する経費やそれに伴う適正な料金設定等、「焼津市水道ビジョン・経営戦略2020」について、わかりやすく市民に周知する必要がある。  
 ・水道事業について理解を深めてもらうため、ホームページ、広報紙等を活用した情報発信を積極的に行う必要がある。

焼津市